

令和5年調査結果の概要

● 出生数は減少

出生数は33,942人で前年より2,028人減少し、人口千対の率は6.8（前年7.2）であった。

合計特殊出生率は1.26で、前年の1.33を0.07下回った。

● 死亡数は増加

死亡数は62,153人で、前年より851人増加し、死亡率（人口千対）は12.4（前年12.2）であった。

死因順位の1位は悪性新生物、2位は心疾患、3位は老衰、4位は脳血管疾患であった。

死亡数に占める割合は、悪性新生物25.6%、心疾患11.6%、老衰8.9%で、以下脳血管疾患6.0%、肺炎5.1%と続いている。

● 自然増減数は増加

自然増減数（出生数から死亡数を減じた数）は-28,211人で、前年の-25,332人より2,879人増加し、自然増減率は-5.6と、前年に続きマイナスとなった。

● 死産数は増加

死産数は787胎で、前年の736胎より51胎増加し、死産率[出産（出生＋死産）千対]は22.7で、前年の20.1を2.6上回った。

● 婚姻件数は減少

婚姻件数は20,549件で、前年の21,840件より1,291件減少し、婚姻率（人口千対）は4.1で、前年の4.3を0.2下回った。

● 離婚件数は増加

離婚件数は8,512件で、前年の8,444件より68件増加し、離婚率（人口千対）は1.70で、前年の1.68を0.02上回った。